

山口県医師会 令和4年度事業報告

I 実施事業

—地域医療・保健・福祉を推進する事業—

1 生涯教育

茶川常任理事 白澤理事
岡理事 國近理事
藤井理事

生涯教育事業では中核事業である生涯研修セミナーの講演内容を年4回の生涯教育委員会で企画・検討した。生涯研修セミナーでは、「COVID-19アップデート」などの新型コロナウイルス感染症に関する講演をはじめ、臨床のみならず、「老年症候群としての転倒転落」など、幅広いテーマを取り上げ実施した。また、引き続き、専門医共通講習の単位を積極的に取得した。

第104回山口県医学会総会は岩国市医師会の引き受けにより「岩国市民文化会館」で2年越しに開催された。午前中に講演が2題行われ、午後は新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を岩国近隣の医療・介護従事者対象に限定したが、多くの参加があった。

新型コロナウイルス感染症対策として参加者を高校生のみ限定し、医師の職業体験実習を3年振りに開催した。県内より多数の参加があり、参加者には大変好評であった。

体験学習は、例年通り山口大学医学部・山口大学医師会の主催により開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止となった。

なお、令和5年度より新たに山口県医師会医学研究助成事業を実施するため、選考会を行った。

第57号の山口県医学会誌を発行した。

1 山口県医学会総会

第104回（岩国市民文化会館） 6月12日
講演2題、特別講演1題

2 生涯研修セミナー

第163回 5月8日
特別講演4題

第164回 9月4日

特別講演4題

第165回 11月20日

特別講演4題

第166回 2月19日

特別講演2題、講演2題

（講演2題は勤務医部会企画）

3 体験学習（山口大学医師会主催）

第71回・第72回（※中止）

引受：消化器内科学講座・器官病態内科学講座

4 山口県医学会誌

第57号の編集及び発行

5 生涯教育諸会議等

医師の職業体験実習 8月7日

郡市医師会生涯教育担当理事協議会

3月16日

生涯教育委員会

5月14日 7月2日

10月15日 2月4日

医学研究助成事業選考会 3月11日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

2 医療・介護保険

伊藤専務理事 藤原理事

竹中理事 木村理事

医療保険

令和4年度の診療報酬改定率は本体でプラス0.43%であり、医科はプラス0.26%となった。そのうち、看護の処遇改善のための特例的対応がプラス0.20%、リフィル処方せんの導入・活用促進による効率化としてマイナス0.10%、不妊症治療の保険適用のための特例的対応がプラス0.20%、小児の感染防止対策に係る加算措置の期限到来によりマイナス0.10%等が含まれている。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中国四国医師会連合の医療保険分科会はWeb開催（5月）となったが、同分科会のテーマである「令和4年度診療報酬改定の評価」について、87項目の意見交換を行った後に、後日、開催される予定である日本医師会の社会保険診療報酬検討委員会への提出項目をまとめた。

また、社保国保審査委員合同協議会等の協議会は感染対策を講じたうえでの集合形式で開催し、審査上の懸案事項であった診療・検査医療機関における「二類感染症患者入院診療加算（250点）」の算定要件について審査の標準化を図るなど、審査支払機関と緊密に連携し、対応を図ったところである。

オンライン資格確認については、閣議決定（8月）を受けて、拙速ではあるが令和5年4月から原則義務化されることとなったため、各々医師会員が業者との契約・設置、補助申請を含め、現場で混乱が生じないように説明会を企画、また情報提供を行った。

冊子「保険診療の手引き」については、近年の医療制度及び自賠責保険、労災保険などの取扱いも含めて、開業医のみならず勤務医にも使いやすいよう編集し、平成25年以来、10年ぶりに改訂版を作成し、全会員へ配布した。

前年に引き続き、コロナ禍に翻弄された1年であったが、会員から持ち上がる診療報酬の問題点、改正点については積極的に日医へ進言し、医療保険対策を講じているところであり、その進言の基となるのは、郡市医師会保険担当理事協議会及び社保国保審査委員との協議会等から提出される意見であることから、これら協議会等は非常に重要な意見交換の場となっている。

個別指導・新規個別指導については、コロナ禍における感染症対策の制限もあったが、感染予防をしたうえで行われた。また、今年度は病院に対しての個別指導及び共同指導も開催された。保険指導医は全員県医師会の保険委員を兼任することとし、立会いについても医師会の保険担当役員（郡市及び県）が行うことで、医療担当者側の立場が尊重された適正な保険指導が実施されるように努めた。

介護保険については、郡市医師会地域包括ケア担当理事・介護保険担当理事合同会議を開催し、令和4年度介護報酬改定による処遇改善を県行政から行い、関係団体からは活動状況の報告等、情報提供を行った。さらに、地域包括ケアシステムの推進（認知症サポート医の養成）等についても行政を含む関係機関等との協議を重ねた。また、その他の認知症関連の研修会、地域包括診療加算・地域包括診療料に係る研修会、主治医意見書記載のための主治医研修会を開催し、診療報酬の施設基準等を満たすべく研修を実施した。

令和元年8月に創設された「オレンジドクター制度」については、本会ホームページ等を活用し、会員へ周知を行った。また、山口県から委託を受け「PREMIUM オレンジドクター」申請者については、認定審査会に諮り協議を行った。その他、行政を含む関係者と協議した。

労災・自賠責保険については、郡市労災・自賠責保険担当理事協議会・労災・自賠責医療委員会合同会議を開催し、それぞれの保険が抱える特有の問題（再診時療養指導管理料）について協議、情報提供を行った。また、労災診療に関する要望書を山口労働局と日本医師会へ提出した。

山口県自動車保険医療連絡協議会においては、各損保会社、各医療機関から提出された交通事故医療に関する未解決事例について、加盟の損保会社と協議を行い対処した。

医療保険

1 医療保険の指導

個別指導

6月30日	7月14日	7月28日
8月25日	10月27日	11月17日
12月1日	12月15日	1月12日
1月26日	2月9日	

新規保険医療機関個別指導

6月2日	7月14日	7月28日
8月25日	10月27日	12月1日

集团的個別指導

9月22日（下関）	9月29日（山口）
10月13日（周南）	3月2日（臨時）

社会保険医療担当者集団指導 e-learning

指定時集団指導 (※中止) 12月 4日
 新規第1号会員研修会 12月 8日
 共同指導 11月 25日

2 日医・郡市医・医療保険関係団体等との連携

中国四国医師会連合总会分科会
 医療保険部会：(※書面開催)
 9月24日(広島市)(※Web)
 郡市保険担当理事協議会 5月12日
 医師会推薦社保・国保審査委員合同協議会 (※中止)
 保険委員会 4月21日
 社保・国保審査委員連絡委員会
 7月 7日 2月 2日
 社保・国保審査委員合同協議会 9月 8日
 社会保険指導者講習会 (※中止)
 山口県医療保険関係団体連絡協議会 (※書面開催)

3 行政機関との連携

山口県健康福祉部厚政課との打合せ 4月21日
 中国四国厚生局山口事務所、山口県健康福祉部
 医務保険課との打合せ 4月21日
 オンライン資格確認システム導入に向けての
 Web説明会 11月10日

介護保険

郡市医師会地域包括ケア担当理事・
 介護保険担当理事協議会合同会議 9月29日
 日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修会 10月 2日
 地域包括診療加算・地域包括診療料に係る
 かかりつけ医研修会
 9月11日 3月12日
 かかりつけ医認知症対応力向上研修会
 7月 3日 8月 7日
 認知症サポート医フォローアップ研修会 10月29日
 主治医意見書記載のための主治医研修会 11月19日
 山口県介護保険関係団体フォーラム

労災・自賠責関係

郡市労災・自賠責保険担当理事協議会・
 労災・自賠責医療委員会合同会議 12月 1日
 労災診療費算定実務研修会(共催) 10月20日(※Web)
 労災・自賠責医療委員会 8月18日 2月 9日
 山口県自動車保険医療連絡協議会 8月18日 2月 9日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

3 地域医療

前川常任理事 伊藤専務理事
 上野常任理事 木村理事
 竹中理事 國近理事

地域医療

新型コロナウイルス感染症は、令和4年度も第7波、第8波と全国的に感染拡大を繰り返し、施設でのクラスター発生や新たな変異株への置き換わり、全数把握の簡略化、季節性インフルエンザとの同時流行など、その対応に医療現場もいとまがなかった。

これまで同様、地域の医療提供体制の中で中心的役割を担っている郡市医師会及び会員医療機関の状況把握に努めるとともに、県行政など関係機関との調整、日本医師会からの情報伝達等に努めた。

(1) 保健医療計画の推進

医療法等の一部改正(令和3年5月)により外来機能報告制度が創設され、各圏域の地域医療構想調整会議においては、今後の地域医療構想の進め方に加えて、その制度の目的や報告内容、協議の進め方について説明が行われた。今年度は報告の開始時期が延期されたため、紹介受診重点医療機関に係る協議は行われなかったが、その役割がより増した調整会議での議論には、引き続き参画

して地域の実情を把握し、郡市医師会を支援していく。

地域医療介護総合確保基金（医療分）については、県の財源不足もあってなかなか上手く活用できていない実状にあるが、県行政に対して、救急勤務医の確保・負担軽減や病院の専従セラピストの確保・育成について、施策・予算を要望した。

地域医療構想調整会議【全体会議】

「岩国」	2月 2日
「柳井」	1月 18日
「周南」(Web)	2月 9日
「宇部・小野田」(Web)	11月 29日
	2月 9日
「下関」	3月 2日
「長門」	2月 13日
「山口・防府」(Web)	8月 4日
	12月 1日
	2月 16日

地域医療構想調整会議【検討部会】

「岩国」	1月 17日
「周南」(Web)	1月 19日
「宇部・小野田」(Web)	11月 21日
「長門」	1月 30日
「山口・防府」(Web)	7月 19日
	11月 14日
	2月 10日

厚労省：医療政策研修会及び地域医療構想

アドバイザー会議 (動画配信)

中国四国医師会連合分科会「広島」(Web)
9月 24日

地域医療計画委員会 (※中止)

郡市医師会地域医療担当理事協議会 (※中止)

(2) 救急・災害医療対策

①初期救急医療について

郡市救急医療担当理事協議会を開催し、各郡市医師会における在宅当番医に関する調査結果等についての情報共有等を行った。また、AEDの普及促進を図るため、講習会で使用する訓練用資機材の貸出を行った。

昨年度に引き続き、ACLS シミュレータレンタル費用の助成を1医療機関につき15万円を上限として行い、3機関に助成を行った。

郡市医師会救急医療担当理事協議会

7月 14日

全国メディカルコントロール協議会連絡会(Web)

5月 25日 1月 27日

②小児救急について

病院勤務医の負担を軽減し、地域で安心できる小児救急医療環境を確保するため、各郡市医師会の協力により、乳幼児の保護者を対象にした啓発講習会及び小児科を専門としない医師を対象とした地域医師研修会を開催した。

また、全時間帯が民間業者に委託されている「小児救急医療電話相談事業」は、令和元年2月から本年度も引き続き2回線で運用されている。この事業については、郡市医師会小児救急医療担当理事協議会にて、昨年度の実績報告を行った。

郡市医師会小児救急医療担当理事協議会

7月 28日

③検死（検視・検案）体制について

例年どおり、警察医会を中心として、役員会・総会を開催し、警察が行う死体検案に協力する医師の連携を図り、研修会を実施した。また、県医師会表彰の地域社会に対する功労者として警察活動協力医を推薦した。

警察医会

役員会 5月 26日 7月 30日 2月 4日

総会 7月 30日

研修会 7月 30日 2月 4日

④災害医療体制について

各郡市医師会又は病院単位によるJMATチームの事前登録を進めた。(27チーム・192名：令和5年3月末現在)

JMATやまぐち災害医療研修会については、昨年度に引き続いて2回開催し、1回目は被災地JMATがテーマのグループワークを、2回目はコロナ禍の避難所運営をテーマに講義形式の研修を開催した。また、JMATやまぐち資器材整備事業として、JMATやまぐち保険の加入やモバイル

ルーター、モバイルバッテリー等の資器材を購入した。

日本医師会主催のJMAT研修が開催され、基本編、統括編を受講した。

JMAT やまぐち災害医療研修会

5月29日 11月 5日

JMAT やまぐち災害医療研修会

事前打合せ会 8月 8日

日医 JMAT 研修「基本編」(Web)

1月 8日

日医 JMAT 研修「統括編」(Web)

3月19日

(3) 地域包括ケアシステムの構築

在宅医療・介護の連携推進は、地域の特性に応じた地域包括ケアシステム構築の中核と捉え、各郡市医師会が積極的に関与していくことが重要である。今年度も郡市医師会担当理事会議を開催し、郡市医師会への取組みに対して助成を行った。

令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、国も含めた自治体と教育・保育の場の責務が示された。法律の趣旨や小児科医会等による取組み、救急搬送・災害時の避難の課題等について、理解を深めるとともに関係機関との情報共有に努めた。

郡市医師会地域包括ケア・

介護保険担当理事合同会議 9月29日

(4) 有床診療所対策

有床診療所部会では、全国的に閉院・無床化が進む中、全国有床診療所連絡協議会と連携して日医や議連等を通じ、安定した経営や将来性を持った承継が可能となるよう診療報酬による評価を働きかけた。

有床診療所部会役員会

6月 9日 10月 6日

有床診療所部会総会

10月 6日

第35回全国有床診療所連絡協議会

「山梨大会」(ハイブリッド開催)

11月 5、6日

全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会

役員会 (Web) 9月28日

総会・研修会 (Web) 1月15日

地域福祉

福祉領域においては、行政の会議等へ出席するとともに、障害者福祉、児童・母子福祉などの地域保健部門と連携をとり、会員への情報提供に努めた。

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

4 地域保健

中村副会長	河村常任理事
上野常任理事	伊藤専務理事
長谷川常任理事	縄田常任理事
竹中理事	藤井理事

地域保健は、妊産婦・乳幼児保健、学校保健、成人・高齢者保健及び産業保健の4部門からなり、各事業は多岐にわたっている。住民の「生涯を通じた健康の保持・増進」の目標のもと、一連の流れとして捉え、関係機関と緊密に連携を取りながら事業を進めた。

妊産婦・乳幼児保健

広域予防接種は、各郡市医師会や各市町関係者との合同会議を開催し、円滑に遂行されている。11月18日に開催された第41回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、HPVワクチン接種に組換え沈降9価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(9価HPVワクチン)を使用可能とする方針が了承され、必要な法令改正等を経て、令和5年4月1日から開始されることに伴い、「9価HPVワクチン(シルガード9)」を追加した。さらに、予防接種に関する知識と理解を深めることを目的に今年度も予防接種医研修会を開催し、「医療安全の視点からみた予防接種に関する間違い防止」と題して崎山小児科(東京都)の崎山 弘先生にご講演いただいた。

県及び市町に対しては、昨年度同様、おたふく

かぜワクチン、小児のインフルエンザワクチンの費用助成、B型肝炎定期接種の対象外である年齢の小児に対する助成を要望した。また、HPVワクチン接種については、今年度から積極的勧奨が再開されており、対象者への情報提供及び接種年齢を過ぎた方への経済的補助を要望するとともに、県民に向けた会長による記者会見を行った。さらに、昨年度に作成した普及啓発のためのポスター及びリーフレットの最新版を作成し、対象者、医療機関及び関係機関等へ配付した。

「子ども予防接種週間」は、保護者をはじめとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることを目的に、今年度も日本医師会、日本小児科医会、厚生労働省の主催で実施され、本会としても協力医療機関の調査や市町への広報について協力した。

母子保健分野では、昨年度に設立した母子保健委員会を2回開催し、多職種連携強化のための対策、産後うつ並びに虐待防止のための施策等を協議した。乳幼児健康診査や妊婦健康診査の料金案等については、関係機関と意見交換の上、県医師会案を行政に提示し、協議を行うとともに円滑な実施をお願いした。また、乳幼児の医療費助成の拡充や産前・産後サポート事業の推進、生後2週間児及び1歳児を対象とした乳児健診への公費助成、新生児聴覚スクリーニング検査の公費助成の推進、挙児希望女性・妊娠初期女性への葉酸配布、多胎妊婦健康診査助成の推進等について県及び市町に対して要望した。

虐待防止活動としては、山口県、山口県産婦人科医会及び山口県小児科医会との共催で児童虐待の発生予防等に関する研修会を開催した。

郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事協議会・関係者合同会議（ハイブリッド） 9月 1日
 予防接種医研修会（ハイブリッド） 12月 4日
 母子保健委員会 6月 2日 1月 12日
 日医母子保健講習会 2月 12日
 児童虐待の発生予防等に関する研修会（ハイブリッド） 11月 6日

学校保健

学校医部会では、学校医活動の活性化と資質向上に向けた取組みとして、学校医研修会を企画し、山口県歯科医師会の小山茂幸先生に「危ない！ポカン口」について講演いただいた。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、昨年度、県教育委員会等と協議の上で発出した児童生徒等の健康診断実施に係る留意事項の令和4年度版を発出した。そのほか「学校医の手引き」第5版や「学校医活動記録手帳」の発行、配付を行った。

学校心臓検診検討委員会では、学校心臓検診報告書の作成や精密検査医療機関への疑義内容の照会など県内統一の学校心臓検診システムの精度管理をするとともに、学校心臓検診精密検査医療機関研修会を「移行期医療」をテーマに企画し、九州大学病院小児科の永田 弾先生に「小児科からみた移行期医療」、九州大学病院循環器内科の坂本一郎先生に「福岡県における成人先天性心疾患診療」について講演いただいた。

その他、例年通り各郡市医師会主催の学校医等研修会及び小児生活習慣病対策に対して助成を行った。

学校心臓検診検討委員会

6月30日 10月 6日 1月19日
 学校医部会総会・学校医研修会・学校心臓
 検診精密検査医療機関研修会（ハイブリッド）
 12月 4日
 学校医部会役員会（ハイブリッド） 6月23日
 郡市医師会学校保健担当理事協議会・
 学校医部会合同会議（ハイブリッド）
 11月17日
 中国四国医師会連合学校保健担当理事
 連絡協議会「広島」（Web） 8月21日
 中国地区学校保健・学校医大会「鳥取」
 書面開催
 第53回全国学校保健・学校医大会
 「岩手」（ハイブリッド） 11月12日
 同 都道府県医師会学校保健担当理事
 連絡会議 11月12日
 都道府県医師会学校保健担当理事
 連絡協議会（Web） 2月 9日

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会
理事会・評議員会「高知」 1月28日
第54回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会
総会「高知」 1月29日

成人・高齢者保健

糖尿病対策として、コメディカル・歯科医等を対象に山口県糖尿病療養指導士講習会を年5回開催し、修了認定試験合格者97名を新たに「やまぐち糖尿病療養指導士」として認定し、全体で資格保有者は995名となった。そのほか、これまでの資格認定者を対象に知識・技術向上及び資格更新のためのレベルアップ講習会を開催した。

特定健診・特定保健指導では、実施状況や検討課題について、保険者や決済代行機関（支払基金・国保連合会）の出席のもとで郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事協議会及び関係者合同会議を開催した。

がん対策では、がん検診受診率向上の施策の一つとして、休日及び平日夜間にがん検診を行う医療機関へ助成する事業を実施した。そのほか、例年どおり、胃内視鏡検診に従事する医師の資質向上を図る山口県胃内視鏡検診研修会、及び県内のがん診療に携わるすべての医療従事者を対象に緩和ケアに関する基礎的な知識習得を目的とする山口県緩和ケア研修会を行った。

健康教育委員会では、今年度のテーマを「睡眠時無呼吸症候群」として、健康教育テキストの内容を検討し、発行した。

感染症対策については、動物由来の感染症等に関する日本医師会及び県からの通知など、郡市医師会を通じて会員への周知に努めた。

健康スポーツ医学研修会は、フレイルに関する研修会を実施した。

禁煙推進委員会では、平成26年度に県医師会報へ1年間掲載した「禁煙推進委員会だより」の第2弾として、委員等が新たに執筆し、今年度は10回にわたり掲載した。また、学校教育における禁煙推進教育の推進を図るには「学校医及び産業医への更なる働きかけ」が必要であることから、今後の取組や課題等について検討した。

郡市医師会成人・高齢者保健担当理事協議会 6月30日

山口県糖尿病対策推進委員会
7月28日 10月27日 2月9日

山口県糖尿病療養指導士講習会
7月24日 8月21日 9月18日
10月9日 10月30日

「やまぐち糖尿病療養指導士」
第15回レベルアップ講習会 11月27日
郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事
及び関係者合同会議（ハイブリッド）
9月22日

健康教育委員会
7月14日 9月29日 12月8日

山口県胃内視鏡検診研修会 1月15日
山口県緩和ケア研修会 12月18日
健康スポーツ医学委員会 6月9日
健康スポーツ医学研修会 10月1日
禁煙推進委員会 8月18日 1月26日

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症への対応については、県の専門家会議、モニタリング会議等へ参画し、感染の発生状況や国・県の取組み状況を把握し、医療提供体制の確保に向けて一層の連携を図るとともに、圏域毎の会議を通じて、各地域の情報伝達・収集に尽くし、会員への迅速な情報提供に努めた。

第7派・第8派において県内で多数のクラスターが発生した際には、会員に対して往診等の協力を要請した。また、発生届対象の重点化、年末年始の外来診療体制、5類への移行など国の方針の変更時には、事前に県と協議・確認を行った。

県民に対しては、感染予防対策の更なるお願いを動画メッセージで発信するなど、より一層の情報発信に努めた。

また、郡市医師会を通して、自宅療養者に対する健康観察や健康相談、診療に協力いただける医療機関の拡充、治療薬の処方のための医療機関の登録、診療・検査医療機関の拡充に努めた。さらに、保健所等の行政補完的な業務として自宅療養者の健康管理等に係る委託料の支払業務（県委託）

に努めた。

10月18日 (Web)

新型コロナウイルスのワクチン接種については、会員への迅速な情報提供を行うとともに、県及び各都市医師会等の医療関係団体と連携し、接種実施体制の構築に協力した。

オミクロン株変異種による感染再拡大に備えた
圏域会議 (Web) 4月20日～25日

新型コロナウイルス感染症関係医療機関 Web 会議
7月20日

コロナ急拡大に伴う検査・診療体制に関する
Web 会議 8月 1日

新型コロナウイルス感染症関係医療機関 Web 会議
8月10日 8月16日

クラスター支援チーム Web 連絡会議
9月 8日

新型コロナウイルス感染症対策圏域会議
9月16日～21日

新型コロナウイルス感染症にかかる
圏域会議 (Web) 10月26日～28日

積極的疫学調査の見直しについて協議
7月 7日

発生届の重点化について協議
8月25日 9月 8日

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した
外来医療体制等の整備について協議

10月20日

年末年始の外来診療体制について協議
12月20日

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う
医療体制の国方針について協議 3月 9日

新型コロナウイルス感染症第8波に係る
DMAT の活動実績報告会 (Web) 3月17日

都道府県医師会新型コロナウイルス感染症
担当理事連絡協議会 (Web)

4月22日 5月18日 7月30日
8月 9日 10月11日 12月23日
2月28日

新型コロナウイルスワクチン接種対策会議
書面開催

乳幼児 (生後6カ月～4歳) への新型コロナ
ワクチン接種に係る連絡会議

産業保健

令和3年7月に「職場における化学物質等の管理の在り方に関する検討会報告書」が出されたことで、従来法令遵守形であった化学物質管理を自律的に転換するよう示された。これにより、今後の労働衛生・産業保健行政に大きく影響を与える可能性がある。令和4年5月には、関連省令の改正が公布及び施行される等、変更されているため、今年度は山口県産業医会と共催で開催した「第73回山口県産業衛生学会・山口県医師会産業医研修会」において、化学物質管理をメインテーマとし、多数の参加があった。

また、都市医師会協力の産業医研修会では、要望を踏まえて研修会を計18回実施したほか、県内の産業保健活動を推進するため、山口県産業保健総合支援センター、労働局等、各関係機関との連携を行った。

産業医研修カリキュラム策定等委員会
4月14日

第43回産業保健活動推進全国会議
4月15日

山口県医師会産業医部会理事会 8月 4日

山口県地域両立支援推進チーム第6回会議
11月14日

都市医師会産業保健担当理事協議会
11月17日

山口県産業保健総合支援センター運営協議会
9月 1日 3月 2日

第73回山口県産業衛生学会・
山口県医師会産業医研修会 2月19日

山口県医師会産業医研修会
7月 7日 9月 1日 9月 7日

9月 8日 9月10日 9月22日
10月 5日 10月 6日 10月13日

10月20日 11月17日 11月24日
12月10日 12月14日 1月19日

1月25日 2月 2日

5 広報・情報

中村 副会長 長谷川常任理事
白澤 理事 藤原 理事
岡 理事 國近 理事

広報事業

広報事業は、組織の主張を展開し会員間の討論の場ともなる重要な分野であることから、令和4年度も対内広報と対外広報の発展に努めた。

① 広報活動事業

令和3年度に引き続き、有益でタイムリーな情報を発信するために、「近い将来、子宮頸がんを苦しめないために、今、HPVワクチン定期接種を受けましょう！」をテーマに記者会見を行い、県民に対してHPVワクチン接種を広く呼びかけた。

医師会報の作成については、毎月開催している広報委員会において、誌面の刷新並びに記事やコーナーの充実をより一層図っており、令和4年度から新たに、「閑話求題」という短く、かつ、テーマを定めないコーナーを作成し、多くの方にご執筆いただいている。

ホームページについては、会員だけでなく県民への情報発信に必須の手段となっている。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症関係のページの内容のさらなる充実に取り組んだ。

対外広報活動として、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に行った上で、11月に山口県総合保健会館にて県民公開講座を開催した。まず、「いのち、きずな、やさしさ」がテーマのフォトコンテストの表彰式を行った。今回で13回目となった今回は、山口県内から129作品の応募があり、写真家の下瀬信雄先生を交えて10月に審査会を行い、表彰作品を決定し、表彰式では下瀬先生による講評をいただき、応募いただいたすべての作品を会場に展示した。その後、特別講演として、引退前にレノファ山口で活躍された、坪井慶介氏に「コツコツとやるべきことを」と題してご講演いただき、参加者による講師への質問が多数あり、大変好評だった。

② 花粉症情報提供事業

令和4年度は県内19測定機関にスギ・ヒノキ

花粉について1月から4月末日まで毎日測定していただき、その結果を本会に連絡してもらい、それを基に翌日の飛散予測を行い、関係機関やマスコミ等に対して情報提供を行った。また、その間、本会のホームページの「花粉情報コーナー」も毎日更新し、最新の情報を県民に伝えるべく努力した。さらに4測定機関には5月から12月末日までイネ科花粉等の測定を行っていただき、飛散状況について週1回、ホームページに掲載した。

また、正確な花粉飛散情報を県民に提供するため、令和4年度は3年振りに測定機関の測定者等を対象にした花粉測定講習会を開催し、その測定精度をより向上させるとともに、花粉測定並びに講習会のあり方等についてアンケートを行い、今後の参考とすることとした。花粉情報委員会では、報道の取材に協力して、テレビ、新聞で花粉症対策の記事の掲載、特集番組の放送の機会を増やしていくようにした。

さらに、隔年で開催していた県民公開講座「花粉症対策セミナー」を4年振りに開催し、川崎医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科臨床講師／医療法人社団兵医院理事長の兵行義先生に「スギ・ヒノキ花粉症の現状とその対策」と題した特別講演を行っていただいた。なお、前回同様、難聴の方も参加できるように手話通訳とスクリーン映写による要約筆記を山口県聴覚障害者情報センターの協力で同時進行で行った。シンポジウム形式で行った質疑応答では参加者から多くの質問があった。

より正確な花粉飛散予測の情報を県民等へ提供することを目的に、令和3年度から山口大学医学部医学科システムバイオインフォマティクス講座に「AIを用いた山口県におけるスギ花粉飛散予測に関する研究」をお願いし、AIプログラムの完成及び精度向上に向けて協力を行った。

情報事業

例年2～3月に2日間にわたって開催される日本医師会医療情報システム協議会がオンラインで開催されたので出席した。令和4年度のメインテーマは「医療DX2023 DX推進の現状と将来の展望ーDX推進のためにできること、すべきことー」で、「国がめざす医療DX」「医療情報の標準

化がめざす未来」「地域医療情報連携ネットワーク」「サイバーセキュリティ」等の発表があり、活発な議論が交わされた。

また、医療機関に対して、電子カルテを暗号化、身代金を要求するランサムウェアなどのサイバー攻撃が頻発しているため、今後のサイバー攻撃への対応の一助とするためにサイバーセキュリティ対策研修会を開催し、多くの参加があった。

対内広報関係

広報委員会

4月 7日	5月 12日	6月 2日
7月 7日	8月 4日	9月 1日
10月 6日	10月 27日	12月 1日
1月 12日	2月 2日	3月 2日
歳末放談会		10月 27日

対外広報関係（県医師会）

フォトコンテスト審査会	10月 6日
同 表彰式	11月 13日
県民公開講座	11月 13日
記者会見	7月 14日

花粉情報関係

花粉情報委員会	6月 30日	9月 29日
花粉測定講習会		12月 18日
県民公開講座「花粉症対策セミナー」		12月 18日

医療情報システム関係

サイバーセキュリティ対策研修会	6月 1日
日本医師会医療情報システム協議会	2月 25～26日 (Web)

6 医事法制

中村 副会長 縄田常任理事
岡 理事 藤井 理事

過去3年に当会が受け付けた医事関係の報告は、平成31年・令和元年度は13件、令和2年度は18件、令和3年度は11件であり、今年度の受付は19件で、前年に比べて増えている。

医療事故防止対策の一環として毎年行っている「医療紛争防止研修会」は、コロナ感染症の蔓延を避けるために今年度も開催を見送ったが、大変重要な内容なので、新年度では現状にあった形での開催を検討する。

医療安全対策においては、例年どおり、担当役員において「日医医療安全推進者養成講座」を受講し、医療安全の推進を図った。

医療事故調査制度の運営については対象事案の対応を図るとともに、担当役職員においては「医療事故調査制度に係る管理者・実務者セミナー(e-learning)」(日本医師会)に参加し、調査の精度向上に向けて準備を図った。

診療情報提供の推進では、例年どおり患者家族等からの医療相談の対応及びカルテ開示等への質問に対応した。診療情報提供推進委員会においては、当年の相談事例等を報告し、また、今年度は「医療従事者に対する暴力と対処」をテーマとして意見交換を行い、法的かつ専門的なご意見をうかがうことができた。今後の取組みに役立てることとする。

令和4年度医療紛争発生

受付件数 19件 (日医付託は3件)

内訳

交渉中	5件
訴訟等	1件
様子見等	8件
終結	5件

令和4年「診療情報提供推進窓口」

受付件数 59件 ※前年71件、前々年53件

内訳

種別

相談	38件	苦情	21件
----	-----	----	-----

性別

男性	33名	女性	26名
----	-----	----	-----

方法

電話	53件	文書通知	1件
来訪	1件	電子メール	3件
FAX	1件		

医療紛争関係**1 医療事故防止対策**

医療紛争防止研修会 (※中止)
 山口大学研修医オリエンテーション
 4月4日Web
 中国四国医師会医事紛争研究会(広島県担当)
 11月23日Web
 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会
 12月8日Web
 郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会
 3月9日
 冊子「医療事故を起こさないために(第4版)」
 の周知徹底

2 紛争処理対策

医事案件調査専門委員会
 (医師賠償責任保険審議会併催)
 4月21日 5月12日 6月23日
 7月28日 8月18日 9月15日
 10月27日 11月24日 12月22日
 1月19日 3月16日
 医事案件調査専門委員会「事例研究会」(※中止)
 顧問弁護士・医事案件調査専門委員合同協議会
 2月25日

3 医療安全対策

日医医療安全推進者養成講座 e-learning
 日医医療安全推進者養成講習会 (※中止)
 医療事故調査等支援団体連絡協議会 (※中止)
 医療事故調査委員合同打合せ会 (※中止)
 郡市医師会医療事故調査担当理事協議会
 (※中止)
 Ai研究会 e-learning

4 診療情報の提供

診療情報提供推進委員会 1月26日
 郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会
 3月9日
 医療従事者の安全確保に関する都道府県医師会
 担当理事連絡協議会 3月17日Web

薬事対策**1 麻薬対策**

麻薬の適正使用・保管・管理・記帳・諸届、毒劇物の保管・管理の周知の徹底を図ったが、特に問題となる事例は発生しなかった。

2 医薬品臨床治験

治験に関する情報については本会ホームページを活用し会員に情報提供をしている。

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

7 勤務医・女性医師

中村 副会長	長谷川常任理事
前川常任理事	白澤 理事
岡 理事	國近 理事

勤務医

医師の働き方改革の議論が本格化し、医師の労働時間短縮や健康確保は重要な課題であり、個人の強い使命感や、医療現場の献身的な努力ではもはや解決できなくなっている。また、新医師臨床研修制度や新専門医制度により若手医師が不足することで、過重労働や診療科及び地域の偏在が顕在化しており、勤務医をめぐる環境は非常に厳しい状況にある。

こうした中、勤務医部会では、勤務医をめぐる諸課題の解決に向け、郡市医師会勤務医理事との懇談会、病院勤務医懇談会、市民公開講座、医師事務作業補助者研修会、医学生への啓発事業、座談会、講演会などを企画したが、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、一部の事業については実施できなかった。

郡市医師会勤務医理事との懇談会は、実地とオンラインを併用して開催し、現場をよく知る郡市医師会の勤務医理事と意見交換の場を設け、地域の実情に沿った勤務環境の改善等を検討するとともに、勤務医の医師会活動への参加促進を行った。今年度は下関市医師会、岩国市・玖珂医師会合同の勤務医部会が設立された。

病院勤務医懇談会は、役員等が病院を訪問し、病院長、勤務医、役員等が一堂に会し、勤務医の

抱えている諸問題について本音でトークをすることにより課題を抽出、それぞれの果たすべき役割等について検討し対策を講じることを目的に、毎年県内2か所で実施しているが、今年度も開催を見合わせた。

市民公開講座は、医療現場の諸問題や勤務医の実情を広く地域住民に理解していただくために、郡市医師会の協力のもとに毎年県内2か所で開催しているが、今年度も開催を中止した。

医師事務作業補助者の活用は勤務医の負担軽減に資することから、オンラインで研修会を開催した。

医学生への啓発事業（医学生のための短期見学研修事業）は、医学生が自身の興味ある診療科の実態を、県内の臨床研修施設で、医学生になった早い時期に体験することにより、県内で医師として働くことの意義や魅力を知ることが目的として、毎年、山口大学医学部医学教育学講座の協力により実施しているが、今年度も実施を見合わせた。

座談会は、実地とオンラインを併用して開催し、「医療現場における暴力・ハラスメント対策」をテーマに、大阪府、埼玉県において患者及び医療従事者が犠牲となる重大な事件が相次いで発生したことを重く受け止め、医療従事者の安全をいかに確保するかについて、警察本部を交えて意見交換を行った。この内容は、勤務医ニュース第30号として発刊した。

講演会は、若手医師の確保と定着を促進するために医師会ができる支援をテーマとしてハイブリッド形式で開催した。なお、この内容は、令和5年度発行予定の勤務医ニュース第31号として掲載する。

臨床研修への取り組みとしては、平成22年4月より、山口大学、県内の基幹型臨床研修病院、山口県及び山口県医師会で組織された山口県医師臨床研修推進センターにおいて、臨床研修の円滑な推進及び研修医の県内定着に関する事業を行っており、今年度も臨床研修医歓迎会の開催、臨床研修病院合同説明会への参加、臨床研修医交流会の開催、指導医・後期研修医等国内外研修助成事業等により、県内の若手医師の確保・育成に努め

た。

以下に本年度事業内容を報告する。

1 勤務医対策

- (1) 勤務医部会総会（講演会）、理事会、企画委員会

①総会（講演会）	2月19日
②理事会	8月25日
③企画委員会	6月7日 9月12日 12月13日
- (2) 郡市医師会勤務医理事との懇談会
10月12日
- (3) 病院勤務医懇談会（※中止）
- (4) 市民公開講座（※中止）
- (5) 医師事務作業補助者研修会

①講演会	11月5日
②グループワーク	7月16日 2月4日
- (6) 医学生への啓発事業
（医学生のための短期見学研修事業）（※中止）
- (7) 勤務医ニュースの発行

①第29号（6月発行）	内容：令和3年度部会総会・シンポジウム「医師の働き方改革」
②第30号（3月発行）	内容：座談会「医療現場における暴力・ハラスメント対策」（12月13日）
- (8) 全国医師会勤務医部会連絡協議会（愛知）
10月15日
- (9) 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会
5月27日
- (10) 中国四国医師会連合勤務医委員会
12月10日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

2 臨床研修医の確保対策

（山口県医師臨床研修推進センター事業）

- (1) 臨床研修医歓迎会 4月8日（Web）
- (2) 臨床研修病院合同説明会
 - ・医学生対象
 レジナビフェア福岡 7月10日

- イーレジフェアオンライン
11月13日(Web)
- レジナビフェア東京
3月19日
- ・研修医対象
- レジナビフェア大阪
4月24日
- レジナビフェア東京
5月8日
- (3) 臨床研修医交流会
8月27日(Web)
- (4) 指導医・後期研修医等国内外研修助成事業
助成実績：0名
- (5) 国内外からの指導医の招へい事業
助成実績：0病院
- (6) 病院現地見学会助成事業
助成実績：県内基幹型臨床研修病院8病院
- (7) 山口県医師臨床研修推進センター運営会議
11月10日 3月23日

女性医師

男女共同参画部会では7つのワーキンググループ(勤務医環境問題、育児支援、女子医学生キャリア・デザイン支援、地域連携、広報、総会、介護支援)による活動を継続した。部会総会では毎年、時事的な話題も含めた講演会やシンポジウム等を企画しており、今年度は、山口大学医学部附属病院漢方診療部の瀬川 誠 准教授による特別講演「女性のための漢方」を、山口県健康福祉部石丸泰隆 審議監、原田昌範 防府事務所長、周南健康福祉センターの本田成美 医師による特別企画『地域保健のフィールドで活躍する～「行政医師」という働き方』をWebでの配信を併用して実施した。

また、日本医師会が開催する男女共同参画フォーラム、ブロック会議等に参加し、他県の取り組み等の情報収集に努めるとともに、男女共同参画推進事業助成金制度を継続し、女性医師の医師会活動への参画推進及び医師の働きやすい環境づくりと資質向上に向けた活動を行う郡市医師会への支援を実施した。なお、引き続きコロナ禍の影響もあり、郡市医師会の男女共同参画部会等の活動費用の助成は3件にとどまった。

1 勤務医環境問題

女性医師勤務医ネットワークの更新を行った。

県内138病院のうち、119病院の登録があった。また、応援宣言集の第5版となる「やまぐちドクターキャリアサポートブック」を発刊した。

2 育児支援

平成21年から山口県の委託事業として専任の保育相談員を置き、女性医師等からの育児に関連した相談を受け支援を続けている。同年設立した保育サポーターバンクでは引き続き登録者の募集を行うとともに、医師に対して、県医師会報、リーフレット、ポスター等において保育サポーターバンク活用の広報を行っており、3月31日現在、総相談件数は230件、バンク登録者は79名である。

また、11月に保育サポーターバンク通信(第13号)を発行した。3月5日には第12回サポーター研修会を開催した。

3 女子医学生キャリア・デザイン支援

年々増加している女子医学生が、先輩女性医師の働く姿を見て、実際に働く現場を体験することにより、自分の将来像を描く参考にすることで、これからの医療を担う責任感を養い、医師として仕事をし続ける自覚を育てることを目的として、平成21年度から女子医学生インターンシップを実施している。なお、コロナ禍にあることを考慮し、令和4年度も2年連続の中止とした。

4 地域連携の推進

現在までに県内11郡市医師会により9つの男女共同参画・女性医師部会等が設置されている。郡市間の情報交換の場として男女共同参画・女性医師部会地域連携会議を開催し、各郡市の活動報告および意見交換を行った。

5 広報

平成23年に山口県医師会ホームページ内に女性医師支援のためのコーナー：やまぐち女性医師ネット(Y-JoyNet)を作成しており、活動状況等掲載情報の更新を適宜行った。新たにトップページにアクセスカウンターを設置。

6 介護支援

平成27年度の総会において、日常の介護に関わる課題等について専門家を交えて意見交換を行ったことを基に、医師会としての介護支援の在り方を検討した。

男女共同参画部会総会	3月 5日
男女共同参画部会理事会	
6月 4日 9月17日 1月22日	
男女共同参画部会ワーキンググループ	
総会	9月10日
育児支援	9月10日 1月22日
男女共同参画・女性医師部会地域連携会議	
	9月17日
保育サポーターバンク運営委員会	
	9月10日 1月22日
保育サポーター研修会	3月 5日
日医(第16回)男女共同参画フォーラム	
「大分県」	4月23日
女性医師支援・ドクターバンク連携	
中国四国ブロック会議	11月23日

8 医業

沖中副会長 茶川常任理事
縄田常任理事 木村理事

医業経営対策

医療関係の税制においては、日本医師会が中心となり厚生労働省等の各関係機関に要望を行った。その結果、「事業税非課税措置・軽減措置」と四段階制(社会保険診療報酬の所得計算の特例措置)は存続され、「認定医療法人に係る税制措置」は延長・拡充、「医療用機器等の特別償却制度」と「地域医療構想実現に向けた税制措置(登録免許税)」は延長されることになった。医療関係の税制は、各方面からの情報を収集しつつ、円滑な医業経営と運営ができるように情報提供を行った。

医業承継事業においては、今年度も山口県の「医業承継支援事業」の運営委託を受け、その基盤体制づくりと実際の承継手続きの際の補助等の検討を行った。承継した後の医療機関の安定運営まで踏まえることが重要と考える。

会員またはその医療従事者が新型コロナウイルスに感染あるいは濃厚接触等で休業又は外来閉鎖を余儀なくされた場合の休業支援制度において、申請のあった医療機関を支援した。なお、この制度は令和4年度をもって終了とする。

自民党山口県連政策聴問会への参加
新型コロナウイルス感染症対応地方創生
臨時交付金の活用に関する県議会及び
県知事への要望
医業承継に関する情報収集及び医師確保の取組み
医療機関税制セミナー 2月 2日Web
日本医業経営コンサルタント協会
山口県支部との面談 2月15日
山口県医業承継推進連絡会議 3月30日Web
感染症等の影響下における医療機関の休業支援

医療従事者確保対策

令和4年度も継続して医療従事者に対する教育・研修の開催を支援していくための事業を、強化して行っている。

毎年の状況を取り纏めている「看護学校(院)に関する基本調査」では、運営が厳しい状況が変わらないことがうかがえ、特に応募者、入学者の減少が顕著であることから、応募者等の増加を目的として「医師会立看護学校(院)入学募集広報活動等の支援」を行ったところである。これらのPR方法の効果については今後検証し、改めて対策を検討する。

本年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大は収まらなかったことから、各看護学校(院)での感染拡大防止策の経費の支援を行った。なお、例年実施している各看護学校(院)への助成等は以下のとおりである。

国や行政に対しては、看護職員等の確保、養成施設の現状の理解及び支援拡充について要望を継続して行った。

- (1) 郡市医師会看護学校(院)担当理事・
教務主任合同協議会の開催 6月 9日
- (2) 医師会立看護職員養成施設への助成
- (3) 医師会立看護学校(院)に関する基本調査

の実施

- (4) 医師会立看護職員養成所問題への対策
- (5) 中四九地区医師会看護学校協議会への出席
(宮崎県都城市) 8月21日Web
- (6) 都道府県医師会看護問題担当理事連絡協議会への出席 (※中止)
- (7) 山口県実習指導者養成講習会受講者への助成
- (8) 日本准看護師連絡協議会へ賛助会員としての加入
- (9) 准看護師を対象としたスキルアップ研修会の開催時の助成
- (10) 中四九地区医師会看護学校協議会への学校(院)年会費の助成
- (11) 看護教員養成講習会の通信受講者の支援
- (12) 医師会立看護学校(院)の新型コロナウイルス感染防止対策(教材・感染対策備品の購入)等への支援
- (13) 医師会立看護学校(院)入学募集広報活動等(オープンキャンパス開催時の助成を含む)の支援
- (14) 山口県看護職員確保対策協議会への出席
3月23日Web
- (15) 山口県訪問看護推進協議会への出席
3月16日

労務対策

医療機関が円滑な医業運営をするためには、従業員等の労務管理は必要不可欠なもので、それは県民への質の高い医療の提供にもつながる。適正な労務管理ができるように、関係当局と連携して情報提供等を行った。

平成27年9月に開設された「山口県医療勤務環境改善支援センター」においては、当会も必要に応じて情報提供等の連携をした。

働き方改革については、労働局等の関係機関からの情報を会員に周知徹底を図るとともに、中央の動向を注視し、適宜対応できるようにしている。その他、関係機関と協議を行った。

- (1) 労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法などの普及啓発
- (2) 山口県医師会ドクターバンク活用の推進
- (3) 山口県医療勤務環境改善支援センターとの

連携運営協議会

3月23日Web

医療廃棄物対策

今年度も国や県からの医療廃棄物取扱いに関する情報提供を行い、また医師会員からの廃棄物(感染性廃棄物、水銀含有物、ポリ塩化ビフェニル処理)に関係する問い合わせの対応を行った。

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

II その他事業

1 収益

実施事業を財政的に支えるために、次の事業を実施した。

(1) 保険料収納代行業務

主に会員を対象として生命保険及び損害保険の保険料の集金業務を保険会社等に代わって行うことにより、生命保険会社等から集金代行手数料を得た。

(2) 労働保険事務組合業務

小規模の事業主である会員から委託を受けて、労働保険料の申告、納付各種届け出等の業務を行い、山口労働局から報奨金の交付を受けた。

III 法人事業

1 組織

伊藤専務理事

藤原理事

藤井理事

1 表彰

- 医学医術に対する研究による功労者表彰 2名
- 医事・衛生に関しての地域社会に対する功労者表彰 2名
- 長寿会員表彰 33名
- 役員・代議員・予備代議員・郡市医師会長
通算10年以上表彰 6名

2 会員への入会促進・研修

新規第1号会員研修会 12月8日

3 調査研究等

定款等検討委員会

5月19日 11月4日 (Web)

4 郡市医師会関係

郡市医師会会長会議 10月20日 2月16日

郡市医師会との懇談会

10月13日 (山口大学) 10月31日 (宇部市)

11月21日 (吉南) 12月7日 (長門市)

5 日医関係

日本医師会第151回定例代議員会 6月25日

日本医師会臨時代議員会

第152回: 6月26日

第153回: 3月26日

都道府県医師会会長会議

9月20日 11月15日 1月17日

都道府県医師会事務局長連絡会 2月17日

日本医師会定款・諸規程検討委員会

10月12日 12月14日

日本医師会IT委員会

5月11日 11月9日

1月11日 3月15日

日本医師会労災・自賠責委員会

12月23日 3月10日

日本医師会医療経営検討委員会 4月21日

日本医師会医師会共同利用施設検討委員会

12月9日 2月10日 3月17日

日本医師会母子保健検討委員会

11月9日 3月15日

6 中国四国医師会連合関係

会長会議

5月28日 9月24日 1月22日

常任委員会

6月24日 9月24日 3月25日

中国四国医師会連合総会・各種分科会

9月24日

中国四国医師会連合勤務医委員会 12月10日

中国四国医師会連合事務局長会議 2月10日

7 会員福祉関係

(1) 会員親睦

山口県医師会ゴルフ大会

10月30日 (※中止)

山口県医師会囲碁大会 (※中止)

第4回全国医師ゴルフ選手権大会 5月4日

第49回全日本医師テニス大会山口大会

10月8～10日

(2) 弔慰 (物故会員参照)

規定どおり実施した。

8 新公益法人制度対策

決算事務等定期提出書類について顧問会計事務所と協議を行った。

9 母体保護法関係

母体保護法指定医師審査委員会

3月7日 (書面開催)

(指定更新39名、新規指定1名)

母体保護法指定医師研修会 10月30日

認定研修機関 (9施設) の定期報告

日医家族計画・母体保護法指導者講習会 (Web)

12月3日

10 関係機関連携

山口県健康福祉部との懇話会 9月15日

三師会との懇談会 2月14日

山口県歯科医師会、山口県看護協会、

山口県病院協会 (※中止)

11 医師会共同利用施設対策

医師会病院、臨床検査センター及び介護関連施設等の医師会共同利用施設は、地域の健康・医療・福祉を包括した総合拠点として重要な役割を果たしているものの、施設の老朽化や民間との競合など経営面での問題を抱えている施設もある。

本年度は、徳島県で開催された、第22回中国四国医師会共同利用施設等連絡協議会に参加し、講演発表も行った。

また、日本医師会共同利用施設検討委員会においては、全国の共通の問題点に対する対応策や運営上の情報交換を行い、日本医師会臨床検査精度

管理調査報告会への参加では、全国の状況把握、情報収集を行った。

さらに、山口県衛生検査所精度管理専門委員会への参加、及び山口県衛生検査所立入検査を行い、精度向上に貢献した。

- 第22回中国四国医師会共同利用施設等
連絡協議会（徳島県） 8月27日
- 日本医師会共同利用施設検討委員会
12月9日（Web） 2月10日 3月17日
- 日本医師会臨床検査精度管理調査報告会
3月3日
- 山口県衛生検査所精度管理専門委員会（Web）
9月27日 2月7日
- 山口県衛生検査所立入検査 11月11日

12 社会貢献

山口県立美術館及びレノファ山口FCに対する活動支援等を行った。

13 医政対策

- 公明党山口県本部政経セミナー 5月14日
- 自民党山口県連政策聴問会 10月19日
- 自民党山口県支部政経セミナー 10月30日
- 公明党山口県本部政策懇談会 11月6日
- 北村経夫国政報告会 11月12日
- 自民党山口県連環境福祉部への要望
12月9日
- 自見はなこ社会保障政懇話会 12月10日
- 武見セミナー 12月12日
- 第16回医療関係団体新年互礼会 1月7日
- 羽生田たかし君と明日の医療を語る会
3月25日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

14 庶務関係報告

(1) 会員数（令和4年12月1日現在）

	令和4年度	令和3年度	増減(△)
第1号会員	1,222	1,234	△12
第2号会員	857	862	△5
第3号会員	438	449	△11
計	2,517	2,545	△28

郡市医師会別会員数

郡市医師会	第1号	第2号	第3号	計
大島郡	7	22	3	32 (33)
玖珂	24	23	0	47 (45)
熊毛郡	14	5	2	21 (21)
吉南	53	38	3	94 (96)
美祢郡	6	5	0	11 (13)
下関市	266	118	76	460 (456)
宇部市	171	102	31	304 (305)
山口市	116	101	32	249 (250)
萩市	40	33	1	74 (76)
徳山	119	127	23	269 (266)
防府	98	74	39	211 (214)
下松	54	29	1	84 (82)
岩国市	88	40	10	138 (137)
山陽小野田	60	38	7	105 (108)
光市	37	38	2	77 (79)
柳井	35	38	5	78 (81)
長門市	26	22	1	49 (50)
美祢市	8	4	0	12 (16)
山口大学	0	0	202	202 (217)
計	1,222	857	438	2,517 (2,545)

()は令和3年度

(2) 物故会員

令和4年4月1日から令和5年3月31日までに27名の会員がお亡くなりになりました。

(3) 代議員数

大島郡	1	山口市	5	光市	2
玖珂郡	1	萩市	2	柳井	2
熊毛郡	1	徳山	6	長門市	1
吉南郡	2	防府	5	美祢市	1
美祢郡	1	下松	2	山口大学	5
下関市	10	岩国市	3		
宇部市	7	山陽小野田	3		
				計	60名

(4) 代議員会

第190回臨時代議員会

令和4年5月19日(木)

山口県総合保健会館 多目的ホール

報告事項

報告第1号

令和4年度山口県医師会事業計画の件

報告第2号

令和4年度山口県医師会予算の件

第191回定例代議員会

令和4年6月16日(木)

ホテルかめ福 ロイヤルホール

報告事項

報告第1号

令和3年度山口県医師会事業報告の件

議決事項

議案第1号

令和3年度山口県医師会決算の件

議案第2号

山口県医師会役員(会長、副会長、理事、監事)及び裁定委員選任の件

議案第3号

山口県医師会役員(会長、副会長)選定の件

議案第4号

令和5年度山口県医師会費賦課徴収の件

議案第5号

令和5年度山口県医師会入会金の件

議案第6号

令和5年度役員等の報酬の件

議案第7号

顧問の委嘱に関する件

第192回臨時代議員会(書面決議)

議決事項

議案第1号

山口県医師会会費賦課徴収規程の一部改正の件

(5) 理事会

4月7日 4月21日 5月12日

5月26日 6月9日 6月16日

6月23日 7月7日 7月21日

8月4日 8月18日 9月1日

9月15日 10月6日 10月20日

11月10日 11月24日 12月8日

12月22日 1月5日 1月19日

2月2日 2月16日 3月2日

3月16日

(6) 常任理事会

6月30日 7月28日 8月25日

9月29日 11月17日 12月22日

1月26日 3月2日

(7) 監事会

5月19日に開催し、令和3年度の決算状況及び業務執行状況について詳細に監査を受けた。

2 管 理

医師会運営及び会館管理に関することを行った。

県下唯一の医書出版協会特約店

医学書専門 井上書店
看護学書

〒755-8566 宇部市南小串2丁目3-1(山口大学医学部横)

TEL 0836(34)3424 FAX 0836(34)3090

[ホームページアドレス] <http://www.mm-inoue.co.jp/mb>

新刊の試覧・山銀の自動振替をご利用下さい。